

保健指導におけるICTの活用

長和町立和田小学校 養護教諭 松永志織

一研究背景、目的一

本校でも昨年度からICT教育の基盤が整備され、授業での積極的な活用が進められてきている。全校研究テーマである「自ら学び、自分の考えを伝え合うことのできる子ども」を目指し、保健指導の中ではICT機器をどのように活用していけるのか検討していく。

一方法、結果一

①歯科指導



- ・ Google Meet→歯科医、歯科衛生士のオンライン指導
- ・ Jamboard→ワークシート
- ・ Google forms→歯みがきに関する実態調査



対面と変わらないレベルの個別指導が可能だったことで、みがき残しやむし歯になりやすい箇所、自分の歯みがき時間の短さに気づき、丁寧な歯みがきを心がけようという意識が生まれた。

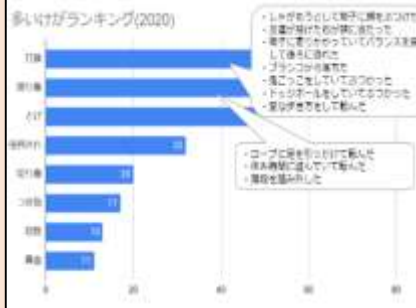
②熱中症予防指導



- ・ Jamboard
- 話し合い、考えの分類まとめ
- ・ クラスルームコメント欄
- 授業の感想

入力しながら、同じ意見や似ている意見、自分とは異なる意見を見つけて、児童同士で交流する様子も見られた。

③怪我予防指導



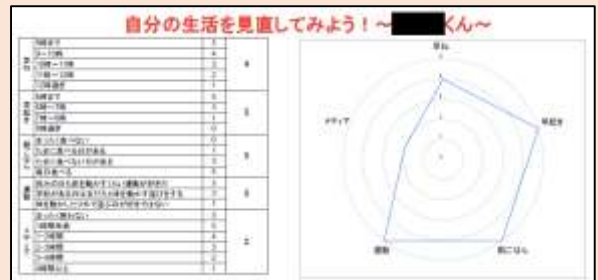
- ・ スプレッドシート、スライド
- 情報のまとめ、児童への提示
- ・ スライド
- 児童のポスター作成



別のペアが編集している様子も見ることができ、互いに対話を重ねながら制作を進めていた。
「協力して作ることができた」という感想が得られた。

④生活改善指導

- ・ スプレッドシート→グラフの作成、レーダーチャートの活用



情報を視覚化しやすく、メディアの使いすぎに気づいたり、普段の生活を振り返る声が聞かれた。

一成果と課題一

- ◎指導者にとって情報の整理や活用がしやすい。
- 取り組んでいる他の児童の様子が見やすく、児童にとって質問や意見などの交流がしやすい。
- △健康被害に配慮する。実際に見て、触れることの良さも理解しつつ、使い分けていくことが必要。